

- 問1 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 （2019年 愛媛県公立入試 類似）
1. 聖徳太子 2. ワカタケル大王 3. 卑弥呼 4. 中大兄皇子
- 問2 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 （2021年 群馬県公立入試 類似）
1. 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた 2. 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた 3. 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた 4. 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた
- 問3 古墳時代の日本において、朝鮮半島から伝えられた技術によって作られるようになった、高温で焼成される灰色の硬い土器を何と言いますか。 （2023年 新潟県公立入試 類似）
1. 埴輪 2. 弥生土器 3. 須恵器 4. 縄文土器
- 問4 5世紀ごろ、朝鮮半島における勢力争いや戦乱を避けて日本列島へ移住し、須恵器の製作や金属加工、土木などの高度な技術、および漢字や儒教を伝えた人々を何と呼びますか。 （2026年 高知県公立入試 類似）
1. 防人 2. 渡来人 3. 朝鮮通信使 4. 倭寇
- 問5 埼玉県の稲荷山古墳から「大王」という称号が刻まれた鉄剣が出土した事実は、当時のヤマト政権の支配状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。 （2016年 高知県公立入試 類似）
1. 律令に基づいた中央集権国家が完成し、全国に役人が派遣されていたこと 2. 関東地方の豪族が、中国の皇帝から日本全体の支配権を認められていたこと 3. 仏教の布教活動を通じて、全国の豪族が精神的に統一されていたこと 4. 近畿地方を中心とする政権の勢力が、関東地方にまで及んでいたこと
- 問6 大陸から漢字、儒教、仏教などが伝えられた時期の日本において、新たに生産が始まった須恵器の特徴とその背景について述べた説明として、正しいものはどれか。 （2023年 高知県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。 2. 中国からの使者が技術を伝え、平らな地面に薪を積み上げる「野焼き」によって低温で焼成された。 3. 国内の農民が独自に技術を開発し、「千歯こき」を用いて土を精製することで作られた。 4. 弥生時代からの伝統的な製法を守り、稲作の普及とともに東日本を中心に広まった。
- 問7 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。 （2019年 群馬県公立入試 類似）
1. 青銅 2. 銅 3. 金 4. 鉄
- 問8 古墳時代中期（5世紀後半）におけるヤマト政権（大和政権）の勢力圏の広がりを説明する記述として、最も正しいものはどれですか。 （2020年 和歌山県公立入試 類似）
1. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。 2. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てることで、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。 3. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。 4. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族を完全に服従させていたことがわかる。
- 問9 朝鮮半島における高句麗、百済、新羅の三国抗争期において、日本（倭）の動向や影響について説明した文として最も適切なものを次から選びなさい。 （2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島からの渡来人が、須恵器の製作技術や漢字、儒教などを日本に伝えた 2. 秦の始皇帝が派遣した軍隊と協力し、高句麗の南下を阻止した 3. オランダとの貿易を優先するため、朝鮮半島諸国との国交をすべて断絶した 4. ナポレオンの軍勢による混乱に乗じて、朝鮮半島全域を直接支配した
- 問10 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。 （2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 鉄剣 2. 金印 3. 銅鏡 4. 埴輪
- 問11 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何と言いますか。 （2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 都 2. 古墳 3. 貝塚 4. 環濠集落
- 問12 4世紀ごろから大和政権と密接な関係を築き、朝鮮半島の南西部に位置していた国を何と言いますか。この国は、五経博士による儒教の伝達や、日本への仏教伝来など、大陸文化を日本へ伝える窓口としての役割を果たしました。 （2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 百済 2. 新羅 3. 高句麗 4. 魏
- 問13 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治的状況を物語っていますか。 （2016年 富山県公立入試 類似）
1. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況 2. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況 3. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザイン鏡を輸入した状況 4. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況
- 問14 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。 2. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。 3. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。 4. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した文字が刻まれた鉄剣・鉄刀には、大和政権の「ワカタケル大王」という名が記されていました。同一人物の名が刻まれた遺物が関東と九州の双方で見つかったことは、5世紀後半には大和政権の支配力が日本列島の広範囲に及んでいたことを証明する重要な根拠となっています。
問2	答え 2 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた	群馬県の綿貫観音山古墳から出土したような灰色の硬質な土器は須恵器と呼ばれます。これは5世紀頃に朝鮮半島から伝来した技術で、斜面に作った穴窯を使用することで、野焼きでは不可能な1000度以上の高温状態を保って焼成されました。この製法によって粘土が焼き締まり、金属のような硬さを持つ土器が誕生しました。
問3	答え 3 須恵器	それまでの日本で作られていた赤褐色の土師器（はじき）とは異なり、朝鮮半島から伝わった「あな窯」を用いて1000度以上の高温で焼き上げる製法が特徴です。この技術は渡来人によってもたらされ、貯蔵用や儀式用の器として広く普及しました。
問4	答え 2 渡来人	4世紀から5世紀にかけての朝鮮半島では、高句麗・百済・新羅の三つの国が勢力を争う不安定な情勢にありました。この動乱を逃れて日本に渡ってきた人々は、大和政権に仕えて特定の技術を持つ集団として組織され、それまでの日本にはなかった最新の技術や文化を広める重要な役割を果たしました。これにより、日本の生産力や政治的な組織化が大きく進みました。
問5	答え 4 近畿地方を中心とする政権の勢力が、関東地方にまで及んでいたこと	埼玉県の稲荷山古墳から「大王」の名が記された鉄剣が見つかったことや、熊本県の江翁山古墳からも同様の銘文を持つ鉄刀が見つかったことは、ヤマト政権の政治的な影響力が九州から関東までの広い範囲に及んでいたことを証明する重要な資料となっています。これは、各地の有力な豪族がヤマト政権の支配下に組み込まれていった過程を物語っています。
問6	答え 1 朝鮮半島から来た渡来人が技術を伝え、山の斜面を利用した「登り窯」で高温で焼成された。	須恵器の生産は、大陸からの高度な技術移転の象徴です。それまでの土器が赤褐色で比較的低かったのに対し、熱効率の良い「登り窯」を使用することで酸素を制限した還元炎焼成が可能となり、硬質の青灰色の土器が誕生しました。同時期には文字（漢字）の使用や学問（儒教）も伝えられており、大陸との交流が当時の社会制度や技術を大きく発展させたことがわかります。選択肢にある「千歯こき」は江戸時代の農具であり、時代が異なります。
問7	答え 4 鉄	大和政権は、朝鮮半島の南部に位置する伽耶（加羅）地域から鉄資源を安定的に確保し、それを用いて高度な武器や鎧を製造しました。当時の古墳から出土する武人の埴輪が鎧をまとうていることから、この金属が軍事力の象徴であったことがわかります。これにより、政権は軍事的な優位を築きました。
問8	答え 1 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。	ヤマト政権の支配範囲が拡大したことを示す考古学的な証拠は、文字が刻まれた金属器の出土です。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣（きんさくめいてつけん）と、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌銘大刀（ぎんぞうがんめいたち）には、ともに「ワカタケル大王」という名が刻まれていました。これは、地方の有力者がヤマト政権の大王に仕えていたことを示しており、当時の政権の勢力が九州から関東まで及んでいた確かな根拠となります。
問9	答え 1 朝鮮半島からの渡来人が、須恵器の製作技術や漢字、儒教などを日本に伝えた	朝鮮半島の緊張状態を背景に、多くの人々が技術や文化を携えて日本列島へ渡ってきました。彼らは「渡来人」と呼ばれ、土木技術、機織り、金属器の加工、さらには漢字や儒教といった高度な文化を伝え、ヤマト政権の発展に大きく貢献しました。
問10	答え 1 鉄剣	稲荷山古墳から出土したこの鉄剣には、115文字に及ぶ漢字が刻まれており、当時の政治状況や文字の使用状況を知る一級の史料となっています。刻まれた「獲加多支鹵大王」は、日本書紀や古事記に登場する雄略天皇を指すと考えられています。
問11	答え 2 古墳	古墳時代、各地の有力者（豪族）は土を高く盛り上げた巨大な「古墳」を築くことで、その勢力を誇示しました。しかし、飛鳥時代に仏教が伝来して寺院が建立されるようになると、有力者の権威を象徴する対象は古墳から寺院へと変化し、巨大な古墳は次第に造られなくなりました。
問12	答え 1 百済	朝鮮半島の南西部に位置した百済は、半島の主導権争いの中で大和政権と友好関係を深めました。この交流を通じて、漢字、儒教、仏教といった高度な大陸文化が日本に導入され、日本の古代国家の形成に大きな影響を与えました。
問13	答え 4 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。
問14	答え 3 ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。	古墳の大きさは、そこに葬られた人物の権力や、動員できた労働力の規模を象徴しています。三重の濠を持つほど巨大な大仙古墳のような古墳が造られたことは、ヤマト政権の首長（大王）が近畿地方の有力豪族をまとめ上げ、強力な支配体制を築いていたことを裏付けています。なお、仏教伝来や律令制度の導入は、これよりも後の時代のことです。

- 問1 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何といえますか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 環濠集落 2. 貝塚 3. 古墳 4. 都
- 問2 古墳時代に見られる、上から見ると鍵穴のような形（一方が四角く、一方が丸い）をした古墳の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 弥生時代に中国大陸から伝わった形式であり、主に北九州地方で多く見られる 2. 聖徳太子による冠位十二階の制定と同時に、身分を示す墓として推奨された 3. 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である 4. 鎌倉時代に幕府の許可を得た武士のみが、自分の領地に築くことができた
- 問3 5世紀頃に現在の大阪府堺市などに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、当時の社会背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 東北地方から九州地方まで、各地域の有力な豪族が中央政権から完全に独立して統治していた。 2. 稲作の豊作を祈るために、特定の支配者を持たない集落の人々が共同で管理する祭祀場であった。 3. 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。 4. 渡来人がもたらした仏教の教えを広めるための寺院として機能していた。
- 問4 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した 2. 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている 3. 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている 4. 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った
- 問5 大和政権の時代、大陸から移住してきた渡来人がもたらした技術や文化について述べたものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 九州沿岸を守るために配置された防人による防衛の仕組み 2. 遣隋使によって直接もたらされた、隋の進んだ政治制度 3. 唐の法律にならって作られた大宝律令などの統治制度 4. 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術
- 問6 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。 2. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 3. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 4. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。
- 問7 5世紀後半の日本列島において、大和政権の支配力が関東地方から九州地方にまで広く及んでいたことを示す歴史的背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 長崎県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いで敗北を機に、関東から九州にかけて山城や防人が配置され、軍事的な中央集権化が進んだ。 2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が魏から贈られた親魏倭王の称号を、地方の有力豪族に分け与えて統治した。 3. 聖徳太子が十七条の憲法を制定し、地方の豪族に対して大王への忠誠を誓わせる制度が全国に普及した。 4. 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。
- 問8 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 弥生人 2. 防人 3. 渡来人 4. 縄文人
- 問9 古墳時代の日本において、朝鮮半島から伝えられた技術によって作られるようになった、高温で焼成される灰色の硬い土器を何と言いますか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
1. 須恵器 2. 弥生土器 3. 縄文土器 4. 埴輪
- 問10 大阪府の百舌鳥・古市古墳群に含まれる、三重の濠が巡らされた日本最大の前方後円墳の名称と、それが登録されているユネスコの区分の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 五色塚古墳（世界文化遺産） 2. 箸墓古墳（世界文化遺産） 3. 大仙古墳（世界文化遺産） 4. 大仙古墳（世界自然遺産）
- 問11 古墳時代に朝鮮半島から渡来人が渡ってきた時期の文化についての説明として、渡来人が伝えた土器の特徴を表しているものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 薄手でかたく、赤褐色をした弥生土器 2. 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器 3. 低温で焼かれた、あつ手で褐色の縄文土器 4. 表面に縄目の文様がつけられた深鉢形の土器
- 問12 古墳時代の大仙古墳やその出土品について述べた文章として、正しいものを1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 大仙古墳からは、副葬品として縄文時代と同じ土偶が出土している。 2. 大仙古墳などの副葬品には金属器は含まれず、土器のみが納められた。 3. 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。 4. 大仙古墳は弥生時代に造られた日本最大級のお墓である。
- 問13 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。 2. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。 3. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。 4. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 古墳	古墳時代、各地の有力者（豪族）は土を高く盛り上げた巨大な「古墳」を築くことで、その勢力を誇示しました。しかし、飛鳥時代に仏教が伝来して寺院が建立されるようになると、有力者の権威を象徴する対象は古墳から寺院へと変化し、巨大な古墳は次第に造られなくなっていました。
問2	答え 3 近畿地方を本拠とする大和政権の拡大に伴い、各地の首長に受け入れられた形式である	前方後円墳は3世紀後半から造られ始め、大和政権（ヤマト王権）の拡大とともに全国へ普及しました。大阪府にある大仙古墳（伝・仁徳天皇陵）のように世界最大級の規模を持つものもあり、これは当時の王の権力の強大さを物語っています。
問3	答え 3 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。	近畿地方にある大仙古墳のような巨大な墳墓の築造には、極めて多くの人手と長い年月が必要でした。このような大規模な土木工事が可能であったことは、当時の大王が広い範囲にわたって人々を支配し、動員できるほど強力な権力を持っていたことを示しています。
問4	答え 2 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていることが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問5	答え 4 金属を精錬する技術や、高温で焼いて作る硬い土器である須恵器の製作技術	渡来人は専門的な技術を持った集団として、大和政権下で重用されました。彼らが伝えた須恵器は、それまでの弥生土器や古墳時代の土師器（はじき）とは異なり、穴窯を用いて1000度以上の高温で焼成された青灰色の硬い土器です。また、鉄製品の加工や農具の改善なども行われ、日本の農業や生活様式に劇的な変化を与えました。
問6	答え 2 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事を行うことができた事実、その被葬者が広範囲に及ぶ支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問7	答え 4 埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳から、同一の最高権力者である大王の名を刻んだ鉄剣・鉄刀が出土した。	埼玉県の稲荷山古墳で出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王（ワカタケルオオキミ）」という文字が刻まれていました。同様の銘文を持つ鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも見つかることから、5世紀後半には近畿地方の大和政権が、関東から九州に至るまでの広い範囲を勢力下に置いていたことが実証されています。
問8	答え 3 渡来人	4世紀から7世紀にかけて、大陸の戦乱を避けるなどの理由で日本列島に移り住んだ人々は、当時の日本にはなかった高度な技術や文化を伝えました。彼らが伝えた須恵器は、高温で焼くことができる穴窯（あながま）の技術を用いたもので、それまでの赤褐色の土器よりも硬い性質を持っていました。また、漢字の伝来は、その後の大和政権による記録や行政の仕組みを支える基盤となりました。
問9	答え 1 須恵器	それまでの日本で作られていた赤褐色の土師器（はじき）とは異なり、朝鮮半島から伝わった「あな窯」を用いて1000度以上の高温で焼き上げる製法が特徴です。この技術は渡来人によってもたらされ、貯蔵用や儀式用の器として広く普及しました。
問10	答え 3 大仙古墳（世界文化遺産）	5世紀の古墳時代中期に築造された大仙古墳は、全長約486メートルを誇る日本最大の古墳です。その圧倒的な規模と独特な形状は、当時のヤマト政権の強力な支配力を示すものと考えられています。2019年には、周辺の古墳とともに「百舌鳥・古市古墳群」としてユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問11	答え 2 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器	渡来人は朝鮮半島から新しい技術をもたらししました。その一つとして、窯を用いて高温で焼き上げる、かたくて灰色の須恵器をつくる技術が伝えられました。
問12	答え 3 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。	大仙古墳は古墳時代に造られた日本最大の前方後円墳であり、その周囲には埴輪が並べられました。土偶は縄文時代の遺物であり、古墳の副葬品には銅鏡や鉄剣などの金属器も含まれます。
問13	答え 1 ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。	古墳の大きさは、そこに葬られた人物の権力や、動員できた労働力の規模を象徴しています。三重の濠を持つほど巨大な大仙古墳のような古墳が造られたことは、ヤマト政権の首長（大王）が近畿地方の有力豪族をまとめ上げ、強力な支配体制を築いていたことを裏付けています。なお、仏教伝来や律令制度の導入は、これよりも後の時代のことです。

- 問1 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。 | 2. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 | 3. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 | 4. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 |
|--|--|--|--|
- 問2 古墳時代を象徴する墓の形式で、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような独特の形状を特徴とし、大阪府にある日本最大の規模を誇る大仙古墳（伝仁徳天皇陵）にも採用されている名称を答えなさい。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| 1. 前方後円墳 | 2. 円墳 | 3. 前方後方墳 | 4. 方墳 |
|----------|-------|----------|-------|
- 問3 大阪府堺市に位置する、全長約486mにおよぶ日本最大の前方向後円墳の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. 三内丸山遺跡 | 2. 大仙古墳 | 3. 吉野ヶ里遺跡 | 4. 登呂遺跡 |
|-----------|---------|-----------|---------|
- 問4 4世紀末から5世紀頃、ヤマト王権は大和地方を中心に勢力を拡大しましたが、その過程で地方の有力な豪族に対し、権力の象徴である銅鏡などを与える政策をとりました。この行為の主な目的として、当時の政治状況から考えて最も適切なものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 全国の一律な税制を確立するために、度量衡の基準として鏡を配るため | 2. 鉄製の武器を効率的に生産するための最新技術を、各地の豪族に共有するため | 3. 地方豪族に仏教を布教し、大陸の進んだ思想で精神的な統一を図るため | 4. 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問5 古墳時代の大和政権において、朝鮮半島や中国から渡来した人々（渡来人）が果たした役割や、彼らがもたらした文化的な影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 狩猟や採集に代わる新しい生活様式として、磨製石器の製作技術を広めた | 2. 稲作を初めて日本に伝え、各地に高床倉庫を持つ集落を形成させた | 3. 銅鐸や銅剣などの青銅器を用いた祭祀を広め、巨大な前方後円墳を築いた | 4. 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 3世紀ごろ、倭の女王である卑弥呼が使いを送った中国の国と、当時その国と勢力を争っていた国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 1. 魏 ―― 呉・蜀 | 2. 唐 ―― 吐蕃・新羅 | 3. 秦 ―― 楚・斉 | 4. 隋 ―― 陳・北周 |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
- 問7 3世紀後半から6世紀にかけて、北は東北地方から南は九州地方まで、日本列島の広範囲にわたって鍵穴のような独特な形をした巨大な墓が築造されました。このような墓が各地に共通して造られた背景として、当時の政治状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大和地方の人口が急激に増加したため、有力な豪族が新天地を求めて東北や九州へ集団移住した際の住居の跡地である。 | 2. 大陸から渡来した人々が、最新の土木技術を日本各地の民衆に広めるための記念碑として、公共事業の一環で築造した。 | 3. ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。 | 4. 仏教の伝来とともに、日本全国の豪族が共通の宗教儀礼を行うための寺院の土台として、同じ形状で設計された。 |
|---|---|--|--|
- 問8 古墳時代に朝鮮半島から渡来人が渡ってきた時期の文化についての説明として、渡来人が伝えた土器の特徴を表しているものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|
| 1. 表面に縄目の文様がつけられた深鉢形の土器 | 2. 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器 | 3. 薄手でかたく、赤褐色をした弥生土器 | 4. 低温で焼かれた、あつ手で褐色の縄文土器 |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|
- 問9 中国の歴史書である『宋書』倭国伝には、5世紀に倭の五王が中国へ使者を送ったことが記されています。この「五王」が朝貢（皇帝への貢ぎ物）を行った相手である、当時の中国の勢力を何と呼びますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 1. 隋 | 2. 北朝 | 3. 南朝 | 4. 唐 |
|------|-------|-------|------|
- 問10 ヤマト王権が巨大な前方後円墳を築き、その周囲に武装した人物の像などの埴輪を並べたり、鉄剣に首長の称号を刻んだりした歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 各地の豪族に対して、王権の強大な軍勢力や政治的な支配力を示すため | 2. 貴族による摂政・関白の政治を安定させるための儀式として行ったため | 3. 仏教を全国に広めるために、寺院の代わりとして巨大な墓を建立したため | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を記念し、収穫を祝う祭祀の場とするため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問11 5世紀ごろの古墳からは、鉄器の材料となる「鉄の延べ板」が数多く出土しており、朝鮮半島から移住してきた人々がもたらした技術の高さがうかがえます。これら渡来人が当時の日本（ヤマト王権）に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 遣隋使が派遣されたことで、中国の優れた官僚制度がそのまま導入され、即座に律令国家が完成した。 | 2. 仏教が初めて伝来したことにより、それまで行われていた古墳の築造が全国で一斉に禁止され、寺院建築に移行した。 | 3. 平城京を中心に商業が発展し、全国で和同開珎などの貨幣が日常的に使われる経済構造へと変化した。 | 4. 鉄製の工具や農具の普及により、土木技術が向上し、巨大な古墳の造営や大規模な農地の開墾が可能になった。 |
|---|--|---|---|
- 問12 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に含まれ、5世紀頃に築造された日本最大の前方向後円墳として知られる、当時のヤマト政権の強大な勢力を象徴する古墳はどれか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|----------|----------|---------|
| 1. 大仙古墳（伝仁徳天皇陵） | 2. 高松塚古墳 | 3. 稲荷山古墳 | 4. 箸墓古墳 |
|-----------------|----------|----------|---------|
- 問13 大阪府堺市に位置する大山古墳（仁徳天皇陵）について、その特徴を地形図から読み取った場合の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 正方形の墳丘が三重の石垣によって囲まれ、その中心部に巨大な石室が露出している。 | 2. 円形の墳丘が等高線によって示され、周囲には濠がなく、標高の高い山地の中に独立して築造されている。 | 3. 長方形の墳丘が二重の濠に囲まれ、周囲に倍塚と呼ばれる小規模な円墳が直線状に並んでいる。 | 4. 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。	九州（熊本県）と関東（埼玉県）という、当時の交通手段では非常に遠く離れた2つの地点から同じ大王の名を記した刀剣が出土したことは、大和政権の支配力がその両地域にまで及んでいたことを客観的に証明するものです。一方で、この時代の支配が東北地方にまで及んでいたことを示す証拠は見つかっていないため、範囲の特定には注意が必要です。
問2	答え 1 前方後円墳	古墳時代の3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方を中心に日本各地で築かれた墓の形式です。この形式が全国的に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）による政治的な支配や影響力が各地に及んでいたことを示す重要な証拠と考えられています。大阪府の堺市にある大仙古墳は、この形式の代表例であり、世界最大級の墳墓として知られています。
問3	答え 2 大仙古墳	5世紀頃に築造されたこの墳墓は、当時の近畿地方を中心とした勢力のリーダーである「大王（おおきみ）」の墓と考えられています。前方後円墳とは、円形と方形を組み合わせた日本独自の形状を持つ古墳であり、百舌鳥古墳群の中でも最大の規模を誇ります。
問4	答え 4 地方豪族との政治的な結びつきを強め、自身の支配下に置くため	ヤマト王権は、近畿地方を拠点として各地の有力な豪族を従属させることで勢力を広げました。王権から豪族へ銅鏡などの貴重な品を分け与える行為は、王権への服従を誓わせる対価として、その地域での支配権を公式に認めるという意味合いを持っていました。これにより、武力による制圧だけでなく、政治的な主従関係による連合体のような支配体制を築いていきました。
問5	答え 4 大和政権で外交や財政管理に従事し、仏教などの新しい文化や技術を伝えた	朝鮮半島や中国から日本に移り住んだ渡来人は、当時の先進的な知識を持っていたため、大和政権において外交文書の作成や財政の記録・管理といった重要な実務を担いました。彼らを通じて、6世紀の百済からの仏教伝来に代表されるような、大陸の新しい学問、宗教、技術が日本に定着し、国家の仕組みが整えられていきました。
問6	答え 1 魏 ―― 呉・蜀	卑弥呼が使いを送った相手は、中国大陸の北部に位置した「魏」という国です。当時の中国大陸は、北部の魏、南東部の呉、南西部の蜀の三つの勢力が争っており、この複雑な国際情勢の中で、邪馬台国は魏との外交関係を築くことで自国の立場を安定させようとしていました。
問7	答え 3 ヤマト王権に従った各地の豪族が、王権との結びつきを周囲に示すとともに、自らの権力を誇示するために築造を認められた。	前方後円墳という特定の形状が日本各地に広がった事実は、当時のヤマト王権を中心とした政治的な連合が広範囲に及んでいたことを示しています。各地の有力な豪族は、ヤマト王権の支配体制に組み込まれることで、その象徴である前方後円墳を築く許可を得て、自身の支配権を正当化しました。渡来人の技術は築造に関わっていますが、目的は公共事業ではありません。また、古墳は住居ではなく墓であり、仏教伝来以前の文化です。
問8	答え 2 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器	渡来人は朝鮮半島から新しい技術をもたらしました。その一つとして、窯を用いて高温で焼き上げる、かたくて灰色の須恵器をつくる技術が伝えられました。
問9	答え 3 南朝	当時の中国は、南北に王朝が分かれて対立する「南北朝時代」にありました。倭の五王（讃・珍・済・興・武）は、そのうち南側の「宋」などの王朝、すなわち南朝に使者を送りました。北朝は主に華北を支配していた別の勢力であり、隋や唐はのちに中国を統一した、より新しい時代の王朝です。
問10	答え 1 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため	古墳の巨大化や、武人などをかたどった埴輪の設置、そして「大王」という称号を刻んだ鉄剣を配ることは、ヤマト王権の優れた技術力や軍事的な権威を内外に示す目的がありました。これにより、各地の有力な豪族を自らの支配下に組み込み、連合政権としての基盤を固めていきました。
問11	答え 4 鉄製の工具や農具の普及により、土木技術が向上し、巨大な古墳の造営や大規模な農地の開墾が可能になった。	渡来人が伝えた鉄器の製造技術は、それまでの木製や石製の道具に比べて耐久性と効率を飛躍的に高めました。これにより、大規模な治水工事や開墾が行われて農業生産力が増大し、その経済力を背景に大王（ヤマト王権）を中心とする支配体制の基盤が強化されることにつながりました。
問12	答え 1 大仙古墳（伝仁徳天皇陵）	大阪府にある大仙古墳は、5世紀のヤマト政権の最盛期に築かれた日本最大の古墳です。これほど巨大な墳墓を築造できたことは、当時の政権が朝鮮半島から確保した鉄製工具を用い、大規模な土木作業を指揮できるほどの強大な権力を持っていたことを物語っています。
問13	答え 4 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。	古墳時代中期を代表する大山古墳（仁徳天皇陵）は、前方後円墳という日本独自の形式を持つ巨大な古墳です。地形図上では等高線によってその独特な「鍵穴型」が描かれ、さらに墳丘を保護するように三重の濠が巡らされていることが確認できます。また、周囲には「倍塚（ばいづか）」と呼ばれる、被葬者の親族や家臣を葬ったとされる小規模な古墳が点在しているのも、この地域の歴史的景観の大きな特徴です。

- 問1 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため | 2. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため | 3. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため | 4. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため |
|---|--|---------------------------------------|---|
- 問2 古墳時代を代表する、前部が方形（四角形）、後部が円形の形状をした巨大な墳墓の名称として正しいものを選択してください。（2019年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|-------|----------|
| 1. 方墳 | 2. 装飾古墳 | 3. 円墳 | 4. 前方後円墳 |
|-------|---------|-------|----------|
- 問3 古墳時代に大陸からの渡来人がもたらした技術や文化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 表面に縄目の文様を施し、食料を煮炊きするための厚手の土器が各地で作られた。 | 2. 仏教が伝来し、寺院の屋根を飾るための瓦を焼く技術が初めて日本列島に導入された。 | 3. 木製農具や石包丁を用いた水田稲作とともに、赤褐色で薄手の土器が広まった。 | 4. 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。 |
|--|--|---|---|
- 問4 千葉県最大級の前方後円墳である内裏塚古墳が築造された古墳時代の中期には、大陸との交流を通じて新しい製作技術が導入されました。この時期に生産が始まった「須恵器」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 青銅を原料として鋳造され、祭祀の道具として用いられた釣鐘型の道具 | 2. 弥生土器の流れを汲み、野焼きによって比較的低温で焼かれた赤褐色の土器 | 3. 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器 | 4. 表面に魔除けの意味を持つ縄目の文様をつけた、厚手で黒褐色の土器 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問5 熊本県に位置する前方後円墳である江田船山古墳からは、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄刀が出土しています。この鉄刀に「ワカタケル大王」の名が刻まれていたことは、当時の日本におけるどのような政治状況を証明するものとして重要視されていますか。（2022年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 大陸から伝わった仏教が、九州地方で最初期に受容されたこと | 2. 縄文時代の交易ルートが、九州から関東までつながっていたこと | 3. 九州地方に、近畿地方とは異なる独立した強力な国家が存在したこと | 4. ヤマト王権の勢力が、九州地方にまで及んでいたこと |
|---------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|
- 問6 縄文時代と古墳時代の出土品の違いについて説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 埴輪は古墳時代に古墳の表面や周囲に並べられたが、土偶は縄文時代に折りや魔よけのために作られた。 | 2. 土偶も埴輪もどちらも古墳時代の副葬品であり、大仙古墳などの大型古墳から出土する。 | 3. 埴輪は縄文時代の集落跡から多く出土し、土偶は古墳時代の豪族の墓から出土する。 | 4. 鉄剣や銅鏡は縄文時代から用いられ、土偶は古墳時代になって権力の象徴として副葬された。 |
|--|---|---|---|
- 問7 日本最大級の規模を誇る前方後円墳である大仙古墳（大山古墳）が位置する場所として正しいものはどれですか。日本全国をいくつかの地域に分けた際、現在の大阪府堺市が含まれる地方の名称を選択しなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 近畿地方 | 2. 関東地方 | 3. 東北地方 | 4. 九州地方 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。（2021年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。 | 2. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。 | 3. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。 | 4. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。 |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
- 問9 3世紀後半から奈良盆地を中心に成立したヤマト政権において、各地の有力な豪族を従えて中心となった指導者が当時名乗っていた称号として、適切なものはどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 大王 | 2. 天皇 | 3. 執権 | 4. 将軍 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問10 4世紀から7世紀頃にかけて朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住した人々は、それまでの土器とは異なる、黒っぽくて硬い「須恵器」の製作技術や、文字としての「漢字」などを伝えました。このような人々を何と呼びますか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 縄文人 | 2. 弥生人 | 3. 渡来人 | 4. 防人 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問11 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。（2024年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。 | 2. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。 | 3. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。 | 4. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。 |
|---|--|--|---|
- 問12 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれかを選びなさい。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。 | 2. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。 | 3. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。 | 4. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。 |
|---|--|---|--|
- 問13 6世紀の古墳時代に、朝鮮半島の百濟から日本へ仏教が公式に伝えられた際、経典や仏像とともに日本へ同時にもたらされたものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|--------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. 磨製石器の製作技術と大規模な環濠集落 | 2. 寺院建築や彫刻などの高度な技術 | 3. 稲作の技術とそれに伴う青銅器の製造法 | 4. 銅鐸を用いた祭祀の習慣や青銅器文化 |
|-----------------------|--------------------|-----------------------|----------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島の高句麗、百済、新羅などが勢力を争っていました。ヤマト王権は、中国の皇帝から「安東大將軍」といった軍事的な指揮権を含む称号を授かることで、朝鮮半島南部における自国の影響力を国際的に正当化しようとした。これは、当時の日本が朝鮮半島の鉄資源や先進技術を確保するために、外交的な優位性を必要としていたという背景に基づいています。
問2	答え 4 前方後円墳	この形状の墳墓は、古墳時代を象徴する代表的な形式です。4世紀から5世紀にかけて特に巨大なものが築かれるようになり、近畿地方を拠点とする勢力の強大さを示すものと考えられています。全国各地に同じ形式の古墳が広まったことは、当時の政治体制を知る重要な手がかりとなります。
問3	答え 4 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。	4世紀から5世紀にかけて、大陸や朝鮮半島から多くの渡来人が移住し、新しい技術を日本列島に伝えました。彼らは金属器の加工や織物の技術とともに、密閉された穴窯で焼成する須恵器の技術をもたらしました。この技術により、従来の土器よりも高い強度を持つ器の生産が可能となりました。他の選択肢は縄文時代、弥生時代、または飛鳥時代以降の出来事です。
問4	答え 3 山の斜面などに作られた窯を使い、高温で蒸し焼きにした灰色の土器	須恵器は、朝鮮半島から伝わった「穴窯（あながま）」という設備を使い、酸素が少ない状態で高温調理（蒸し焼き）にするため、特有の灰色になります。これに対し、同時に使われていた土師器（はじき）は、古墳時代以前からの伝統的な手法である「野焼き」で作られていたため、赤褐色をしています。
問5	答え 4 ヤマト王権の勢力が、九州地方にまで及んでいたこと	5世紀後半のものとされる江田船山古墳の鉄刀には「ワカタケル大王（雄略天皇）」の名が刻まれており、これはヤマト王権（大和政権）の支配力が九州地方にまで浸透していたことを示す決定的な証拠となっています。同様の銘文を持つ鉄剣が埼玉県の稲荷山古墳からも出土しているため、当時の王権が関東から九州までの広範囲を統治下に置いていたことがわかります。
問6	答え 1 埴輪は古墳時代に古墳の表面や周囲に並べられたが、土偶は縄文時代に祈りや魔よけのために作られた。	埴輪は古墳時代に造られた古墳に並べられた土製品ですが、土偶は縄文時代に魔よけや豊かな収穫などを祈るために作られたものです。このように、作られた時代や使用目的が異なります。
問7	答え 1 近畿地方	5世紀頃、現在の大阪府や奈良県などを含む近畿地方を中心に、巨大な前方後円墳が数多く造られました。大仙古墳は、当時の大和政権（ヤマト王権）の首長である大王の権力を象徴するものであり、現在の大阪府堺市に位置しています。
問8	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。	遠く離れた埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳の両方から、同一の大王（ワカタケル大王）の名を記した遺物が出土したことは、その大王を中心とする大和政権の権威や支配力が、すでに関東から九州まで広範に及んでいたことを裏付ける有力な証拠となっています。
問9	答え 1 大王	ヤマト政権の首長は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。「天皇」という称号が正式に使われ始めるのは7世紀後半の天武天皇・持統天皇の時代からであるとされており、それ以前の古墳時代における指導者の呼称としては「大王」が適切です。
問10	答え 3 渡来人	4世紀から7世紀にかけて、大陸の戦乱を避けるなどの理由で日本列島に移り住んだ人々は、当時の日本にはなかった高度な技術や文化を伝えました。彼らが伝えた須恵器は、高温で焼くことができる穴窯（あながま）の技術を用いたもので、それまでの赤褐色の土器よりも硬い性質を持っていました。また、漢字の伝来は、その後の大和政権による記録や行政の仕組みを支える基盤となりました。
問11	答え 3 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。	ヤマト王権の王たちは、中国の皇帝から「安東大將軍」などの高い称号を得ることで、日本国内における絶対的な権威を確立しようとした。また、当時の朝鮮半島では高句麗や新羅、百済が対立しており、その中で軍事的な優位性を国際的に承認させる狙いもありました。
問12	答え 1 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。	当時の日本にはなかった高度な知識や技術を持っていた人々に関する記述です。彼らが伝えた「須恵器」は、従来の土師器よりも高温で焼かれた硬い陶質土器であり、生活様式の変化をもたらしました。また、文字（漢字）の導入により、行政や外交などの記録が可能になり、大和政権の組織化が促進されました。
問13	答え 2 寺院建築や彫刻などの高度な技術	百済から仏教が伝来した際、単に宗教的な教え（経典）や崇拜対象（仏像）が届いただけでなく、それらを安置するための寺院を建てる建築技術や、仏像を造るための彫刻技術といった、当時の大陸や朝鮮半島の高度な技術がセットで導入されました。これにより、その後の日本の文化や技術は大きく発展することになりました。

- 問1 ヤマト王権の王たちが「倭の五王」として中国の南朝へ繰り返し使節を送り、当時の国際社会において自らの地位を誇示しようとした主な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 1. 最澄などの僧を派遣し、仏教を日本へ正式に導入するための許可を得るため | 2. 坂上田村麻呂を派遣して東北地方を制圧するために、強力な武器の支援を求めるため | 3. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため | 4. 大陸から稲作の技術を導入し、国内の食料生産を安定させるための指導を仰ぐため |
|---------------------------------------|---|---|--|
- 問2 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に含まれ、5世紀頃に築造された日本最大の前方後円墳として知られる、当時のヤマト政権の強大な勢力を象徴する古墳はどれか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|----------|----------|---------|
| 1. 大仙古墳 (伝仁徳天皇陵) | 2. 稲荷山古墳 | 3. 高松塚古墳 | 4. 箸墓古墳 |
|------------------|----------|----------|---------|
- 問3 埼玉県の稲荷山古墳から「ワカタケル大王」の名が刻まれた鉄剣が出土し、また熊本県の江田船山古墳からも同じ大王の名が刻まれた大刀が出土しました。これらの史料から推測できる、5世紀後半の日本列島の状況として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 稲作の技術が伝わったことで、日本列島各地で小国家の統一が始まった。 | 2. ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。 | 3. 各地域の豪族が独自に強力な軍隊を持ち、ヤマト政権と激しく対立していた。 | 4. 仏教の教えが全国に広まり、各地の豪族が鉄剣を寺院に奉納していた。 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問4 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------------|----------|-------------|
| 1. 隋・唐・宋 | 2. 高句麗・百済・新羅 | 3. 魏・呉・蜀 | 4. 渤海・高麗・新羅 |
|----------|--------------|----------|-------------|
- 問5 5世紀初めから約1世紀の間にわたって行われた、ヤマト王権の外交活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 唐へ渡った留学生たちが、帰国後に大化の改新の政治改革を主導する役割を担った | 2. 小野妹子が使者として派遣され、中国の皇帝に対して対等な形式の国書を渡した | 3. 中国の魏の歴史書に、女王が金印を授かり親魏倭王の称号を得た記録が残されている | 4. 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている |
|--|---|---|--|
- 問6 古墳時代中期 (5世紀後半) におけるヤマト政権 (大和政権) の勢力圏の広がりを説明する記述として、最も正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 仏教を政治に取り入れた聖徳太子が、全国に国分寺を建てることで、九州から関東までの地方組織を直接支配していたことがわかる。 | 2. 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。 | 3. 『魏志』倭人伝に記された女王の朝貢記録により、中国から認められた政権が全国の地方豪族を完全に服従させていたことがわかる。 | 4. 近畿地方を中心に巨大な前方後円墳が作られ始めたことから、この時期にはすでに東北地方まで完全に統一されていたと判断できる。 |
|---|--|---|---|
- 問7 5世紀頃に現在の大阪府堺市などに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、当時の社会背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|
| 1. 渡来人がもたらした仏教の教えを広めるための寺院として機能していた。 | 2. 東北地方から九州地方まで、各地域の有力な豪族が中央政権から完全に独立して統治していた。 | 3. 大和政権 (ヤマト王権) の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。 | 4. 稲作の豊作を祈るために、特定の支配者を持たない集落の人々が共同で管理する祭祀場であった。 |
|--------------------------------------|--|---|---|
- 問8 紀元1世紀から17世紀までの東アジアにおける日本の対外関係をまとめた年表において、最も古い時期に記される「後漢への朝貢」に関連する問いです。当時の倭の奴国の王が中国の皇帝から授かったとされる、現在の福岡県志賀島で出土した品物はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 1. 勘合貿易で用いられた割符 | 2. 「漢委奴国王」と刻まれた金印 | 3. 「親魏倭王」と刻まれた金印 | 4. 「日出処天子」と記された国書 |
|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|
- 問9 滋賀県の古保利古墳群のように、この時期に築造された前方後円墳などの古墳文化は、当時の東アジア情勢と深く関わっています。4世紀末から5世紀にかけての、日本 (倭) と朝鮮半島諸国との関係についての説明として正しいものを次から選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1. 日本は新羅と強固な同盟を結び、高句麗を滅ぼして朝鮮半島北部に領土を広げた | 2. 高句麗の好太王 (広開土王) の碑文には、倭が海を渡って百済や新羅を破り、高句麗と戦ったことが記されている | 3. 当時の日本は聖徳太子を中心に、隋に対して「日出づる処の天子」で始まる国書を送ることに専念し、半島情勢には介入しなかった | 4. 日本は高句麗と連合して百済を攻め、その見返りとして仏教の公伝を受けた |
|---|--|--|---------------------------------------|
- 問10 日本最大の前方後円墳である大仙古墳など、古墳時代の遺跡や出土品に関する説明として誤っているものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 大仙古墳のように円形と方形を組み合わせた形状の古墳が造られた。 | 2. 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。 | 3. 古墳の周囲や墳丘には、素焼きの土器である埴輪が並べられた。 | 4. 豪族の権威を示すための副葬品として、銅鏡や鉄剣などが納められた。 |
|------------------------------------|---|----------------------------------|-------------------------------------|
- 問11 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 大和政権 (ヤマト王権) の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。 | 2. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。 | 3. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。 | 4. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。 |
|--|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問12 5世紀の日本において、倭の五王と呼ばれる王たちが中国の南朝へ繰り返し使節を送った目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 平城京を造営するためのモデルとして、中国の都の仕組みを詳しく調査するため | 2. 沿岸部で活動し周辺諸国を苦しめていた倭寇を取り締まるよう、中国から要請を受けたため | 3. 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため | 4. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に勝利するための軍事同盟を、中国の王朝と結ぶため |
|---|--|--|--|
- 問13 古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形 (一方が四角形で、もう一方が円形) をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|----------|
| 1. 装飾古墳 | 2. 方墳 | 3. 円墳 | 4. 前方後円墳 |
|---------|-------|-------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、外交を有利に進めるため	5世紀の東アジアでは、朝鮮半島の高句麗、百済、新羅などが勢力を争っていました。ヤマト王権は、中国の皇帝から「安東大將軍」といった軍事的な指揮権を含む称号を授かることで、朝鮮半島南部における自国の影響力を国際的に正当化しようとした。これは、当時の日本が朝鮮半島の鉄資源や先進技術を確保するために、外交的な優位性を必要としていたという背景に基づいています。
問2	答え 1 大仙古墳（伝仁徳天皇陵）	大阪府にある大仙古墳は、5世紀のヤマト政権の最盛期に築かれた日本最大の古墳です。これほど巨大な墳墓を築造できたことは、当時の政権が朝鮮半島から確保した鉄製工具を用い、大規模な土木作業を指揮できるほどの強大な権力を持っていたことを物語っています。
問3	答え 2 ヤマト政権の政治的な支配力が、関東地方から九州地方まで及んでいた。	遠く離れた関東（埼玉県）と九州（熊本県）の両地域から、同一の大王の名を刻んだ刀剣が見つかったことは、当時のヤマト政権が広範囲の豪族を服属させ、統治下に置いていたことを示す重要な歴史的証拠となっています。単なる交易の証拠ではなく、地方の豪族が大王に仕えていたという政治的な背景を裏付けています。
問4	答え 2 高句麗・百済・新羅	朝鮮半島では、北部の高句麗、南西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。
問5	答え 4 中国の南朝の歴史書に、倭の五王と呼ばれる王たちが使者を送った記録が残されている	5世紀、ヤマト王権は当時の中国の南朝（宋など）へ朝貢を行っていました。中国の歴史書には、讃・珍・済・興・武という5人の王が記録されており、彼らが軍事的な称号や政治的地位を求めていたことが記されています。他の選択肢は、3世紀の邪馬台国、7世紀の遣隋使、あるいは7世紀以降の遣唐使に関する内容であり、時代背景が異なります。
問6	答え 2 関東地方の稲荷山古墳と九州地方の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に共通の王の名が見られることから、支配が九州から関東まで及んでいたと判断できる。	ヤマト政権の支配範囲が拡大したことを示す考古学的な証拠は、文字が刻まれた金属器の出土です。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）と、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌銘大刀（ぎんぞうがんめいたち）には、ともに「ワカタケル大王」という名が刻まれていました。これは、地方の有力者がヤマト政権の大王に仕えていたことを示しており、当時の政権の勢力が九州から関東まで及んでいた確かな根拠となります。
問7	答え 3 大和政権（ヤマト王権）の大王が、膨大な労働力を動員できる強力な支配権を及ぼしていた。	近畿地方にある大仙古墳のような巨大な墳墓の築造には、極めて多くの人手と長い年月が必要でした。このような大規模な土木工事が可能であったことは、当時の大王が広い範囲にわたって人々を支配し、動員できるほど強力な権力を持っていたことを示しています。
問8	答え 2 「漢委奴国王」と刻まれた金印	紀元1世紀（西暦57年）、倭の奴国の王は中国の後漢へ使者を送り、光武帝から金印を授けられました。これは、当時の日本の小国が中国の皇帝に朝貢することで、自らの支配の正当性を認めさせようとした初期の事例です。この金印には「漢委奴国王」と刻まれており、江戸時代に志賀島で発見されました。
問9	答え 2 高句麗の好太王（広開土王）の碑文には、倭が海を渡って百済や新羅を破り、高句麗と戦ったことが記されている	当時の日本（倭）は、鉄資源の確保や先進文化の導入を求めて朝鮮半島南部への進出を図りました。高句麗にある好太王碑には、南下政策を進める高句麗と、百済や加羅を支援して戦った倭の軍勢についての記録が残されており、当時の激しい抗争の様子を裏付けています。
問10	答え 2 女性の姿などをかたどった土偶が、魔よけや豊かな収穫を祈るために作られた。	土偶は縄文時代に作られたものであり、古墳時代のものではありません。古墳時代には、古墳の周囲に埴輪が立てられ、内部には副葬品として銅鏡や鉄剣などが納められました。
問11	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。	遠く離れた埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳の両方から、同一の大王（ワカタケル大王）の名を記した遺物が出土したことは、その大王を中心とする大和政権の権威や支配力が、すでに関東から九州まで広範に及んでいたことを裏付ける有力な証拠となっています。
問12	答え 3 中国皇帝から王としての国際的な地位を認められ、朝鮮半島南部での立場を有利にするため	5世紀の古墳時代、倭の五王は中国の南朝に朝貢しました。当時の倭の王は、大陸の強大な王朝から「倭王」としての称号（冊封）を得ることで、自身の権威を国内外に示すとともに、鉄資源の供給地として重要だった朝鮮半島南部における外交的・軍事的な優位性を確保しようと考えました。
問13	答え 4 前方後円墳	3世紀後半から6世紀頃にかけて造られた、日本を代表する古墳の形式です。近畿地方で発生し、一方が方形（四角）、もう一方が円形を呈していることからその名がつけました。当時の首長の権力の大きさを示す象徴的な建造物です。